
発育・育成学特論（令和7年度は開講しません）

Child Health and Development

1 年次前期・選択

2 単位・30 時間

【概要・目標】

胎児期、小児期から思春期を経て、生殖世代という人生のサイクルにおける心身の病態を、保健、医療、福祉の総合的観点から包括的に、かつ年齢による診療の分断をなくし連続的にとらえ、さらに一人ひとりの患者を全人的に診る小児を基盤とした新しい概念を展開する。主に、てんかん、運動障害、精神遅滞をひき起こす神経疾患や、自閉症、注意欠陥/多動性障害、学習障害などの発達障害による子どもの心身の発達と課題を学ぶ。

【授業内容・スケジュール】

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 子どもの概念 | 子どもの文化 |
| 2. 子どもの発達 1 | 身体的発達, 神経学的発達 |
| 3. 子どもの発達 2 | 精神・心理的発達 |
| 4. 子どもの疾病 | |
| 5. 発達障害 1 | |
| 6. 発達障害 2 | |
| 7. 母子相互関係 | |
| 8. 子ども虐待 1 | |
| 9. 子ども虐待 2 | |
| 10. いじめ・不登校 | |
| 11. 子どもの人権 | |
| 12. ペアレンティング | |

【評価】

出席状況（20%）、レポート（20%）、プレゼンテーション（60%）等により総合的に評価する。

【テキスト】

特になし。

【推薦参考図書】

必要に応じて提示する。

【その他】